

2026年9月からお産の料金が変わります

「お産っていくらかかるんだろう？」「あとから追加料金を請求されたらどうしよう…」
そんな不安を抱えるママのために、安心してご出産に臨んでいただけるよう、当院では
分娩代や個室代などの基本費用をひとつにまとめた「パッケージプラン(セット料金)」
をご用意しました。

パッケージプラン(セット料金) 470,000円

✓パッケージプラン(セット料金)に含まれるものは？

正常分娩の入院費用(5泊6日)、分娩費、赤ちゃんの保育管理費に加え、赤ちゃんの
聴覚検査・マススクリーニング検査(先天性代謝異常検査)の費用まで含まれておりま
す。

✓ご加入の健康保険から「50万円」が支給されるのをご存じですか？

赤ちゃんを出産すると、ご加入中の健康保険(会社の健康保険や国民健康保険など)
から一律50万円の「出産育児一時金」が支給されます(出産育児一時金制度)。

病院が手続きを代行する仕組み(直接支払制度)をご利用いただくことで、まとまっ
たお金をご用意いただく必要がなくなります。

✓保証金(100,000円)について

夜間・休日のご出産や処置・お薬など、退院時に発生する追加費用(追加費用に関す
る詳細は裏面をご参照ください)のご精算に充てるため、妊娠24週までに保証金とし
て一律100,000円をお預かりしております。

こちらは退院時のお会計で追加費用へ充当し、差額(余剰金)は退院時にご返金いた
します。(※追加費用が発生しなかった場合、お預かりした10万円は全額返金いたしま
す。)

#お部屋のご案内について

当院では落ち着いて過ごせる個室を優先的にご案内しており、個室料はいただきま
せん。周りを気にせずゆっくり過ごせます。(※満床時は一時的に大部屋となる場合が
ございます)

追加費用等について

✓追加費用が発生するケース(詳細と具体例)

お産の時間帯、お母さん・赤ちゃんの状態に応じた医療処置によって、以下の追加費用が発生いたします。

① 時間外・深夜・休日加算(自費) 分娩時刻に応じて加算されます。

平日時間外(18:00～21:59)(6:00～7:59)：10,000円

土曜日(6:00～21:59)：10,000円

深夜(22:00～5:59)・日祝祭日：20,000円

② ご希望による入院期間の延長 (自費:1日につき12,000円(税込))

医師の医学的な指示ではなく、患者様・ご家族のご希望により退院日を延ばす場合(例として「赤ちゃんの退院日(黄疸の治療や経過観察など)に合わせて一緒に退院したい」「ご家族のお迎えやご家庭の都合に合わせて退院日を1日延ばしたい」など)は、7日目から追加で費用が発生します。ただし、医師から入院が必要と指示があった場合は保険診療となります。(※満床時には延泊のご希望に添えない場合がございます。延長をご希望の際は、お早めに病棟助産師またはスタッフまでご相談ください。)

③ お薬・医療処置が発生した場合(保険診療:3割負担)

分娩そのものは自費診療ですが、医師の判断により医学的な処置・治療を行った部分のみ健康保険(3割負担)が適用されます。以下に一部の例を記しますのでご参照ください。

- ・お薬の処方・注射(子宮収縮剤、抗生剤など)：約 1,000 円 ～ 3,000 円
- ・吸引分娩・鉗子分娩(赤ちゃんをスムーズに出すための処置)：約 8,000 円 ～ 10,000 円
- ・陣痛促進剤の使用(お産の進行を促すお薬と管理)：約 5,000 円 ～ 10,000 円
- ・傷口の縫合処置(重度の裂傷に対する縫合術など)：約 3,000 円 ～ 6,000 円
- ・妊娠高血圧・貧血等の合併症治療(輸血などをした場合)：約 5,000 円 ～ 20,000 円

④ 帝王切開となった場合(包括診療 / DPC制度)

予定帝王切開や緊急帝王切開となった場合は、入院期間全体が「保険診療(DPC/診断群分類包括評価)」へ切り替わります。

⑤ 切迫早産等で入院、その後正常分娩となった場合(包括診療 / 定額料金 併用)

切迫早産等での点滴やお薬、入院管理料は健康保険が使用できます。「限度額適用認定証(マイナ保険証)」を利用すれば、高額療養費制度により自己負担額は一定の上限まで抑えられます(※食事代等は別途かかります)。その後、正常分娩された際はここから所定のプランが適用され、出産一時金でカバーされます。